



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(富岳会)

18歳成人の権利義務及び成人式と敬老会の在り方について

問 選挙権が18歳に与えられて以降の投票率の推移はいかがか。

部長 12回実施され市全体(全年代)の平均は45.7%。若年層はさらに低い。市内に住民票を残したまま市外に居住し、投票のために帰省しないことが影響していると考えるので不在者投票制度の周知を図る。

問 18歳成人となった今後の成人式の在り方についていかがか。

部長 今後も「二十歳を祝う集い」として中学校区ごと分散方式で開催していく。

問 敬老会の見直しについて伺う。

部長 アンケート結果では現状維持で良いとの意見が多いため見直しは考えていない。対象人数

の増加、自治会役員の負担を考えると関係団体と、必要に応じ検討していく。

意見 富士市や他市町では令和3年度より敬老会の廃止を含め見直しが進んでいる。一足飛びにはいかなくとも、一つ一つ詰めて検討していく必要がある。

救急搬送について

問 630問題の現状はいかがか。

部長 救急隊による医療機関への受入れ照会回数6回以上、照会開始から搬送先決定まで30分以上要した、いわゆる630問題に該当する件数は富士医療圏では年250件超。県内他地域と比較しても突出して高い傾向。協議会などで受け入れについて協力依頼を行っている。

問 「救急かけはし」を周知徹底させることが具体案と考えますがいかがか。

部長 昨年度から運用しており、市民への周知を図りたい。

意見 現在まで解決の糸口さえ掴めないでいる。首長同士の話し合いや連携を取る事を望む。



わかばやし しづこ
若林 志津子
(日本共産党議員団)

学校給食をよりおいしくするために

問 学校給食は子どもの成長にとって、とても大事なもの。よりおいしいと思ってもらうために、①子どもたちと教員、調理員の意見。②給食の残食率を民間委託する以前と現在の比較。③学校給食を食べている全員へのアンケートの実施。について伺う。

部長 ①子どもたちからは、味つけ、材料、食べたい料理のリクエストなど。教員からは、具材の大きさ、食べやすさ、彩りなど。調理員からは、家庭での子どもの食事の参考になるなど。②新センターになったことによる残飯率の変化はなかったと考えている。③児童生徒の端末を活用し、小中学校全体に実施したい。

意見 知り合いの中学生からは、リンゴチップパンやお米がおいしい、味が薄いなど野菜の味

がしない、持参した水筒でお腹を膨らませ、家へ帰り何か食べるなど深刻な意見があった。

放課後児童クラブでの困難事例の把握と対策

問 ①放課後児童クラブで気になる子の対応に苦慮している困難事例の聴き取り、または実態調査は。②放課後児童クラブで難しい困難事例の場合は、誰が責任を一番持つのか。

部長 ①障害児受入推進事業の加算対象児童が在籍する放課後児童クラブからは、療育手帳や医師の診断書の写しなどを計画書に添付していただくことになっている。学校で行うケース会議に挙げられたとの理由で加算対象になった場合もある。②運営は育成会で、個別事例として育成会の方を中心に対応していただきたいと思っている。相談があった場合は、市も3者一緒になって、話し合いをもつなど助言をさせていただくといった関りは持っている。

意見 保護者の御理解が得られず、話し合いも難しい事例には、全国の困難事例集などを配る。指導員の立場を明確にするなどが必要。